川崎医療短期大学 広報誌 No.89

特別記事特集

新学長からのメッセージ 新入生突撃インタビュー

- 地域探訪 くらしき&おかやま⑩
- 日本語に関する取り組み
- 協助会報告/新任教職員紹介
- 公開講座/国家試験結果と進路状況/ 補助金・助成金/川崎エコプロジェクト
- インフォメーション





新学長からのメッセージ

五つの心を大切にする社会人に

山口 恒夫前学長に代わり、この4月から小池 将文前副学長が 学長に就任されました。

小池 将文新学長からの「就任にあたっての抱負」をご紹介 いたします。

学長就任にあたって

川崎医療短期大学は、今年の4月で創設42年を迎えまし た。山口 恒夫前学長の後任として8代目の学長職を拝命し ました。初代学長は、川崎学園を創設した川崎 祐宣先生で、 「人をつくる 体をつくる 深い専門的知識・技能を身につけ る」の三本柱を建学の理念にされ、私たち教職員は、それ を承継しながら医療と福祉・保育分野の有為な人材の育成に 努力してきました。

この理念の三つ目の「深い専門的知識・技能を身につける」 は、医療・福祉・保育のプロを養成する以上当然のことと言 えます。二つ目の「体をつくる」も、病気、障がいなどの課 題を抱えた人々や子どもたちへのサービスを提供する専門職 業人になるためには、健康で丈夫な体を持って溌剌と活動で きることが必要です。一番難しいのが、最初の「人をつくる」 です。すなわちすぐれた知性と豊かな人間性を有した人物を 育成することです。 卒業生の多くが就職する病院や福祉施設・ 保育施設の方にどのような人材が望ましいかとお尋ねすると、 知識・技能も必要だが、まずは「挨拶がきちんとできること」 「笑顔で応対できること」「相手の立場になって心配りできる こと」などを期待するとよく言われます。良き社会人であるこ とが求められているのです。この期待に応えることこそが 「人をつくる」ことですが、大学の教育だけで実現できる ものではありません。保護者の皆様と一緒になって取り組ん でいく必要があると考えています。

数年前に、滋賀県を旅行し琵琶湖の畔の老舗らしき和菓 子の店に入ったとき、目につく所に「大切な五つの心」の題で、 次の言葉が木製の版に奇麗な楷書で書かれていました。



小池 将文 新学長

- 一つ「はい」という素直な心
- 一つ 「すみません」という反省の心
- 一つ 「おかげさま」という謙虚な心
- 一つ 「私がします」という奉仕の心
- 一つ 「ありがとう」という感謝の心

その後調べてみると、「日常の五心」と呼ばれる仏教の 教えで、多くの所で使われていました。「人をつくる」とは、 このようなしなやかな心を育てることではないでしょうか。 本学は、医療・福祉・保育分野における対人サービスの プロを育成することを目指しています。対人サービスのプロ に最も大切な資質は、患者・利用者・子どもの人間としての 尊厳を尊重することであり、相手の気持ちを思いやる心が 求められます。その心のありようを具体的に表現した言葉とも 言えます。

2~3年という短期間で医療・福祉・保育の専門的知識と技 能を身につけるためには、学生諸君はかなりハードな講義、実 習等をこなしていく必要があります。少子高齢化の進行するわ が国において、医療・福祉・保育分野の専門職に対する必要 性は今後一層高まってきます。本学で学んだ学生たちが五つの 心を持った良き社会人として活躍できるよう、保護者の皆様の ご協力も得ながら、人づくりに力を傾注していきたいと存じます。

特集 新入生(突)撃)インタビュー



平成27年4月3日(金)に入学式が挙行され、351人 の新入生が本学での新生活を開始しました。生活環境 や学習環境の変化に慣れないうちは、不安そうな顔を した学生も多少いましたが、最近では少しずつ大学生 活になじんできたようです。大学生活への期待と希望 に胸を膨らませた、笑顔あふれる学生の姿を数多く見 ることができます。

今回の「特集」では、新入生がどんな思いで入学し たのか、入学してこの大学をどう思っているのかを知 るため、各学科の新入生に急遽集まってもらい、イン タビューを行いました。広報誌「若きいのち」の存在 すら知らない学生もいて、これはいったい何の取材と 驚きながらも、興味津々で取材に応じてくれました。

そんな皆さんの率直な回答をまとめましたのでご覧 ください。

以下は、今回の質問項目です。

【質問項目】

自己 PR: 読者へのアピールとして自己 PR をお願い します。他の人には負けない点、普段から心掛けてい る点などを述べてください。

質問1: 入学試験で合格が決まったときの喜びを語っ てください。また、受験勉強での苦労や合格するため に行った受験対策などを述べてください。

質問2: 医療・福祉・保育系の大学は全国にたくさん あります。なぜ本学への入学を志望したのか、本学の 魅力や特徴を交えて述べてください。

質問3:本学には、医療・福祉・保育など様々な学科 がありますが、なぜこの学科を選んだのかを教えてく ださい。あなたが志望した職業の魅力や、やりがいに ついても述べてください。

質問4:本学に入学して、授業や設備、環境などで、 驚いたことや感動したことを述べてください。

質問5:これからの抱負や目標、どういった学生生活 を送りたいかを述べてください。



看護科

氏名: 熱田 悠(Atsuta Haruka) 出身高校: 倉敷南高等学校(岡山県)

私は普段から明るく、何事も率先して行 動することができます。この行動力を生 かし、看護について積極的に学びたいと 思います。

◆合格が決まったときの喜び

本学の試験日間近まで全科目の勉強をしていました が、2科目に絞ってから必死に最終仕上げをしました。 受験科目を絞った時期が少し遅かったため、勉強すれ ばするほど課題が出てきて、仕上げが間に合うかどう か不安でした。合格したときは、とてもうれしかった のと同時に進路が決定したことに安心しました。

◆本学を志望した理由

本学は三年制の短期大学であり、充実した学校施設 や実習施設にとても魅力を感じました。また家からも 近いため通学時間が短縮でき、その分、勉強時間の確 保につながると思い志望しました。

◆看護科を志望した理由

以前から人の役に立つ仕事をしたいと考えていまし た。私が入院したとき、実際に看護師の仕事を見て看 護師という職業に興味を持ちました。その後、看護体 験に何度か参加し、患者さん一人ひとりに合わせてう まくコミュニケーションをとり、テキパキと仕事をこ なす看護師の姿を見て、憧れはさらに強くなりました。 このように、やりがいのある看護師になりたいと思い、 看護科を志望しました。

◆入学してからの本学の印象

ぱん・で・らんちの焼き立てパンが本格的でとても おいしく感動しました。講義では、先生によって方 法や進度も異なるため、程良い緊張感と楽しさを味わ うことができます。不安なことも多いのですが、先輩 方や先生方が優しく気軽に質問にも答えてくださるた め、これからも充実した日々が送れそうです。

◆これからの抱負・目標

勉強を後回しにせず、しっかりと予習復習をして、 一つひとつの知識を確実に身につけていきたいと思い ます。そして看護師になるという夢がかなうよう、自 ら学ぶ姿勢を持ち続けたいと思います。



看護科

氏名: 森原 朱音(Morihara Akane) 出身高校:就実高等学校(岡山県)

自己PR:

食べることと笑うことが大好きです。小 さいことは気にしない性格で、友人にも よくサバサバしていると言われます。

◆合格が決まったときの喜び

合格通知を受け取ったときは、自分で納得できる結 果が得られたことに安心しました。受験中は家族に たくさんの心配と迷惑を掛けたため、進路が決まった ことで少しは安心してもらえると思いうれしかったで す。また、何度も面接練習をした成果が出たと思い、 今まで頑張ってきてよかったと思いました。

◆本学を志望した理由

一番の魅力は、全国に先がけてドクターへリを運用 した川崎医科大学附属病院で主に臨地実習が行われる ところです。また附属病院の先生方からも講義を受け られる点にも魅力を感じました。

◆看護科を志望した理由

私が看護師を目指したのには、母が看護師であると いうことが大きく影響しています。幼い頃から母が働 く姿を見たり、仕事内容を聞いたりして、看護師とい う職業に憧れていました。そして高校での一日看護体 験を通し、看護師という仕事のやりがいを知り、看護 師になりたいという気持ちが強くなりました。

◆入学してからの本学の印象

学生玄関前の桜が満開でとても奇麗だったのが印象 的でした。今年は雨の日が多く、桜も早く散ってしまっ たため、来年こそは友人と花見をしたいと思います。 また、看護科の新入生は133人と非常に多いのですが、 みんな明るく、たくさんの友達ができました。

◆これからの抱負・目標

日々の講義は医学用語も多く難しい内容ですが、予 習復習を忘れず、力をつけていきたいと思います。そ して、相手の立場で物事を考えられる看護師になれる よう、あらゆることに一生懸命取り組みたいと思いま す。また、人見知りなのでサークルなどを通じて、友 達を多く作りたいと思います。



臨床検査科

氏名: 髙田 真吾(Takata Shingo) 出身高校: 倉敷南高等学校(岡山県)

白己PR:

私は相手の立場に立って物事を考えるこ とを心掛けています。今後も相手への思 いやりを忘れず、何事にも努力していき

◆合格が決まったときの喜び

合格発表前日は不安で眠れませんでしたが、合格が 決まったときは喜びで興奮が冷めませんでした。ずっ と合格を目指して学習を積み重ねてきたことが結果と して表れ、本当にうれしかったです。

◆本学を志望した理由

本学の高い国家試験合格率と、1年半という豊富な 臨床実習ができるところに魅力を感じました。学習す るうえでの環境が整っている本学で、臨床検査技師に なるための多くの知識と高い技術を身につけたいと思 い、志望しました。

◆臨床検査科を志望した理由

私の父は臨床検査技師です。進路を決めるにあたり、 父とよく話をしました。その中で、あらゆる検査結果 が病気の早期発見・治療につながること、医療現場で 臨床検査技師の果たす役割の重要性を知り、感銘を受 けました。そして私も将来臨床検査技師になり、チー ム医療の一員として地域医療へ貢献したいと強く思う ようになりました。

◆入学してからの本学の印象

入学式を終えて講義が始まると、覚えるべき内容の 多さに驚きました。同時に、自分が臨床検査技師を目 指して専門的な勉強をしていることに喜びを感じてい ます。先生方の説明は大変きめ細かく熱心で、安心し て3年間を過ごすことができそうです。また、周りの 友人たちはみな臨床検査技師になるというしっかりし た目的意識を持っており、切磋琢磨しながら充実した 学生生活を送ることができそうです。これから始まる 3年間の学生生活が楽しみです。

◆これからの抱負・目標

臨床検査技師になるための技術、知識、常に学び続 ける姿勢を身につけたいです。そして、一人でも多く の人から信頼される臨床検査技師を目指します。



放射線技術科

氏名: 柚鳥 与(Yutori Ato) 出身高校:金光学園高等学校(岡山県)

自己PR:

小学校から高校まで野球部に所属し、 チームワークや礼儀作法の大切さを学 びました。部活動を通して培った高いコ ミュニケーション能力が私の長所です。

◆合格が決まったときの喜び

合格通知を受け取ったときは、飛び跳ねるほどうれ しかったです。学力試験の勉強はもちろんのこと、面 接の練習にも力を入れました。面接官に対して、「私 はどうしてもこの大学に入学し、将来は診療放射線技 師として働きたい」という強い思いを伝えることが重 要だと思います。

◆本学を志望した理由

本学は、診療放射線技師養成学科のある唯一の短期大 学で、国家試験受験のために必要な内容を3年間で集中 して学ぶことができます。豊かな自然に囲まれたキャン パスや川崎医科大学附属病院での充実した臨床実習、さ

らに医療現場で活躍されている医師や診療放射線技師の 方々が講師として来てくださることなど、学習するため の環境が大変整っています。また、四年制大学に比べて 学費が安い点も本学を選んだ理由の一つです。

◆放射線技術科を志望した理由

患者さんの体内の画像化や放射線照射によるがん治 療などによって、医師の読影・診断・治療をサポート する技術者として医療に貢献できる診療放射線技師と いう職業に魅力を感じたからです。また、診療放射線 技師が行える医療業務は拡大しており、今後ますます の発展と必要性が期待されるからです。

◆入学してからの本学の印象

入学してまず感じたことは、先生や先輩の方々が親 切で優しいということです。そして、学内の雰囲気が いつも明るく楽しいことに、良い印象を持ちました。

◆これからの抱負・目標

日々の授業を大切にし、3年後の国家試験に合格で きるよう勉学に励みたいです。また、勉学だけでなく 友人との学生生活もしっかり楽しみ、充実した3年間 を過ごせるよう努力したいと思っています。

特集:新入生突撃インタビュー



医療介護福祉科

氏名: 宮宗 杏朋吏(Miyasou Kahori) 出身高校:福山明王台高等学校(広島県)

自己PR:

中学、高校とソフトボール部に所属して いました。体を動かすことが大好きで す。現在は、福山から毎日電車で通って

◆合格が決まったときの喜び

私は、面接でしっかりと自分の思いを伝えられるよ うに練習を重ねました。高校の先生や友人など、たく さんの方々が指導と協力をしてくださいました。合格 が決まったときは、喜びと同時に、指導や協力をして くださった方々に対する感謝の気持ちでいっぱいにな りました。入学してからの2年間で、何があっても介 護福祉士になると固く決意しました。

◆本学を志望した理由

オープンキャンパスに参加し、本学は設備が充実し ていて、実習で使用するベッドの数が多く、入浴のた めの機械もさまざまな種類がそろっていることが素晴 らしいと思ったからです。

◆医療介護福祉科を志望した理由

介護福祉士という仕事は、人とのコミュニケーション を大切にします。利用者の暮らしを守り、命を守る職業 だからこそこの学科を志望しました。

◆入学してからの本学の印象

まず驚いたのは、建物の構造が複雑なことです。入 学式直後のオリエンテーションのときに学内を案内し てもらいましたが、学内で迷子になりそうで、別の教 室へ行くのも一苦労だと思いました。一方、病院が併 設されているため、四種抗体の検査やツベルクリン反 応、予防接種がすぐにできることにも驚きました。ま た、先生方がユーモアを交えて話してくださるので、 毎日の授業が楽しいです。

◆これからの抱負・目標

私は将来、利用者に「日本一の介護福祉士だ」と言っ てもらえるようになりたいと思っています。そのため にも、勉強はもちろんのこと、行事への参加やボラン ティア活動などを通じて多くの人と交流し、成長して いきたいと思います。



医療保育科

氏名:鈴木 愛理(Suzuki Eri) 出身高校:新居浜東高等学校(愛媛県)

小さい頃から音楽に触れてきたので、音 楽が好きという点では誰にも負けませ ん。好奇心旺盛で、入学した今は何にで も挑戦したい気持ちであふれています。

◆合格が決まったときの喜び

合格が決まったときは、とてもうれしかったです。 ピアノやエレクトーンをずっと習ってきたことを面接 でアピールしました。クラスで最初に受験をしたので、 高校の先生と一緒に結果を確認しました。面接などを 何度も練習した努力について、先生がほめてくれまし た。家族に合格を伝えたとき、安心した様子だったこ とが印象に残っています。

◆本学を志望した理由

地元にも保育士養成の短大があり、クラスメイトも 進学しています。しかし、本学の「医療保育」という キーワードから、本学にはここでしか学べない強みが あると感じました。本学でしっかり学ぶことで、他の

大学とは違う力を身につけたいと思いました。

◆医療保育科を志望した理由

保育所での一日体験などを通して、子どもたちの活 発さや素直な心が、私にとってとてもほほえましく好 ましいものとして印象に残りました。子どもたちの心 の成長を見守ることのできる職業に就きたいと考え、 この学科を志望しました。

◆入学してからの本学の印象

授業数が多いことや高校までとは異なる名前の科目 がたくさんあることに驚きました。また、90分授業 に慣れるのが大変でしたが、その中で、先生方がとて も優しく丁寧にご指導くださるため、安心して授業に 取り組むことができています。学外オリエンテーショ ンのときに、先輩方が手遊び歌などをとても楽しそう に見せてくださった姿が印象的でした。

◆これからの抱負・目標

私は、子どもからも保護者からも信頼される保育士 になりたいと思っています。そのためにしっかり勉強 を進めていきます。同時に、サークルに入って他学科 の人とも交流を深めていきたいです。入学して手話部 に入ったので、これからはその活動も楽しみです。



ここは、「唯心山」という築山の背景に岡山城の見える絶好の スポットです。私たちが行った4月26日は、岡山が生んだ茶祖 栄西禅師の偉業を顕彰する大茶会(栄西茶会)の日で、裏千家、 表千家、武者小路千家などの茶道の家元が茶席を設けていました。 着物姿の方々もたくさんおられて、とても奇麗でした。

vol. 10 岡山後楽園

今回取材に行ったのは、岡山市にある岡山後楽園です。岡山 後楽園は日本三名園の一つで、世界に誇る文化財です。今から 約300年前に岡山藩2代藩主池田綱政が、藩主の安らぎの場 として作らせた庭園です。



「沢の池」という池に浮かぶ島のかなたには操道を望むことができます。 岡山後楽園の季節のイベントの一つに「お田植え祭」があります。写真 のように、現在は芝生の庭園ですが、昔は田んぼと畑が広がっていました。 今もその名残で園内には田んぼがあります。「お田植え祭」では、岡山 県新見市の太鼓田植え保存会の皆さんによる昔ながらの太鼓田植えが行 われます。今年は6月14日に開催されるそうです。



ヒラドツツジ

これは、5月が見ごろのヒラドツツジです。唯心山の麓で咲き誇って いました。園内では、まるで別世界にいるかのように、時間の流れがゆっ くりと感じられました。ガイドさんに案内していただいたおかげで、建 物や遺跡についても詳しく知ることができ、とても勉強になりました。

岡山後楽園では、春夏秋冬いつでも 美しい風景を楽しむことができます。 皆さんも日ごろの疲れを癒しに行ってみ てはいかがでしょうか。



NS2 佐々木・島田・谷・加賀・山端

NS1 森安

MT1 松原・山本・藤田・中土井

CW 池田・森原・石永

◆日本語に関する取り組み◆

コンテスト受賞のお知らせ

共通教育科目「文章表現」と医療保育科専門教育科目「幼児と国語」では、新聞の 活用、俳句や短歌の創作などを取り入れ、その成果を全国的なコンテストに応募してい ます。平成 26 年度の後期には、「HAPPY NEWS 2014」に 354 人の受講生が応募し、 「HAPPY NEWS 大学生大賞 (グループ)」を受賞しました。学科単位で応募した俳句や 短歌においても高い評価を得ました。



「HAPPY NEWS 2014」にて 大学生大賞(グループ)を受賞

日本新聞協会主催の「HAPPY NEWS」は、新聞記事 の中から HAPPY な気持ちになった記事を選び、200字か ら400字程度のコメントを書くものです。本学も平成22年 度から、毎年300人を越える規模で応募を続けています。 この5年の間に、『心がぽかぽかするニュース』(文藝春秋 発行) に、本学の作品も2編が選ばれました。平成25年 度は学校特別賞を受賞しました。平成26年度には、これ までの5年にわたる取り組みが評価され、大学生大賞(グ ループ)を受賞するに至りました。授賞式は平成27年3 月3日(火)に本学101会議室で行われ、山陽新聞社の佐々 木 善久執行役員読者局長から山口 恒夫学長(当時) に表 彰状と賞金30万円が贈られました。

授業では、学生が定期的に新聞を開くことを目指し、新 聞コラムの書き写しや新聞記事の要約を課題としています。 学生それぞれが選ぶ記事は多彩で、目を見張るコメントを 書く学生もいます。学生が300人いれば300の異なる記事 とコメントが一度に集まります。学生たちは、それぞれが自 律的に新聞を読み、記事に共感し、自らの言葉で意見や感 想をつづります。活字媒体である新聞の情報量の豊かさが、 学生を触発するのではないかと思います。遠くにお住まい

の親御さんから、地元の新聞記事を送ってもらっている学 生もいます。「HAPPY NEWS」で集まった記事とコメント を見ていると、子どもや高齢者の笑顔、同世代の若者が活 躍をする写真に目をとめ、見出しを手掛かりに紙面をめくっ ている学生の姿や表情を想像することができます。今回の 受賞を糧に、このような取り組みを地道に継続し、今後と も学生の新聞への関心を喚起していきたいと思います。





第 20 回「前田 純孝賞学生短歌コンクール」 にて7人が入賞

兵庫県新温泉町出身の歌人、前田 純孝を顕彰する学生短歌コンクー ル(同町など主催)に、「文章表現」の看護科と放射線技術科のクラ スで取り組み、学校特別賞を受賞しました。また、大学生の部の応募 作品534首の第1席に輝いた放射線技術科2年の我如古有梨さんを 始め、下記の7人の作品が入賞しました。我如古さんの短歌は、選者 である佐佐木 幸綱さん (歌人・早稲田大学名誉教授) から「放射線 技師になるための勉強をしている作者には、『壊変図』の見方、読み 方は必須科目。専門用語をうまく取り入れて、特色ある歌にしあげて いる」という選評を受けました。詳細は第20回「前田純孝賞学生短 歌コンクール」のホームページに掲載されています。



前田純孝賞 放射線技術科2年 我如古 有梨

◆ナース服袖を通せば無意識に背筋が伸びる視線が上がる

新温泉町長賞 看護科2年 金原 唯奈

◆解剖生理学人体模型さえ愛おしい購入しようか本気で迷う

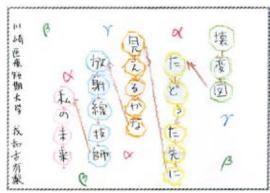
新温泉町長賞 放射線技術科2年 日野 美紀

◆空みあげ遠くの君を想い出すいまにも雨が降りだしそうだ

新温泉町教育長賞 看護科2年 吉﨑 愛

◆一歩ずつ近づくたびに少しずつ増えていくのはノートとふせん 新温泉町教育長賞 放射線技術科2年 浅原 あゆみ





新温泉町の記念館に展示された入賞者の手書き作品より

◆ナース服着るたび夢に近づいて未来の今日は理想の看護師 神戸新聞社賞 看護科2年 佐々木 めぐみ

◆看護師を目指すきつかけくれたのは祖母の笑顔と父の励まし 神戸新聞社賞 看護科2年 藤原曜

第9回「赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」 一般団体の部にて団体賞受賞

日本赤十字社主催の俳句コンテストに、医療保育科2年次生対象の「幼 児と国語」の受講生64人が応募し、岡山県赤十字血液センター団体賞を 受賞しました。今回で6度目の受賞です。平成27年2月15日に開かれ た授賞式に、受講生を代表して武田 美咲さんと中野 美咲さんが出席しま した。64人の合計429句の中から、主なものを以下に掲載しました。献血 と命の尊さ、子どもや家族への愛情、友情、自然への感動が躍如として描 かれています。



◆夏の空プールはいつかと聞く子ども	安藤 有里恵
◆一針でつながる命赤い糸	大橋 茉莉
◆コスモスを横目に走る献血車	数野 友梨
◆祖父母たち敬老の日にいい笑顔	加藤 舞子
◆秋風に揺られ伸びてく影ふたつ	黒飛 吾美
◆母ツバメ子どものためにと働いている	小西 祐希
◆献血が今日も誰かの笑顔記念日	武田 美咲
◆新学期友と一緒に走りだす	花岡 智香
◆みかんむく手は小さい手大きい手	松葉 歩実
◆園児たち蛙の成長凝視する	本倉 瑞希

◆顔知らぬあなたに届け赤い糸	勇 裕子
◆ABO友達そろえて献血へ	伊東 香波
◆向日葵に気づけば背丈越されてた	片山 美穂
◆毛糸編むばあちゃん見てるとあったまる	川上 千歩
◆夏探しいいこと探し献血し	高津 茉穂
◆ぶらんこの順番待ちで十数え	砂川 怜香
◆金木犀大きく吸った秋の空	鳥居 未曜帆
◆「ありがとう」恥ずかしいからカーネーション	中野 美咲
◆双六を転がし変えたいこの日常	宮本 萌加
◆貝殻の内側に見る虹の色	山本 彩寧

協助会報告

平成27年度 川崎医療短期大学 協助会役員

会 長 中野 裕之 (医療保育科2年)

副会長 大西 郁男 (医療保育科1年)

副会長 小池 将文 (川崎医療短期大学学長)

監事 小川 隆 (看護科2年)

監事 笹部 恵子(看護科1年)

平成26年度収支決算書および平成27年度収支予算書

4月3日の入学式終了後に開催された平成27年度協助会総 会において、下表の平成26年度収支決算書および平成27年 度収支予算書が承認されました。これにより、今年度も学生の 皆さんの学習、福利厚生、学生生活および進路等に関する諸 活動についての支援が行われます。

平成26年度 川崎医療短期大学協助会収支決算書

一般会計			(円)
収	入	支	出
会費	10,180,000	学生研修助成費	4,777,886
雑収入	212,644	厚生福利費	1,593,626
前年度繰越金	8,018,584	学生生活指導費	2,705,470
		進路指導助成費	1,274,240
		涉外費	100,000
		事務費	445,895
		雑費	3,549
		予備費	34,600
		次年度繰越金	7,475,962
合 計	18,411,228	숨 計	18,411,228

特別会計			(円)
収	入	支	出
前年度繰越金	10,749,222		0
雑収入(預金金利)	2,284		
平成 26 年度基金	200,000		
合 計	10,951,506	合 計	0
		差引残額	10.951.506

平成27年度 川崎医療短期大学協助会収支予算書

一般会計			(円)
収	入	支	出
会費	10,300,000	学生研修助成費	5,960,000
雑収入	0	厚生福利費	1,920,000
前年度繰越金	7,475,962	学生生活指導費	2,780,000
		進路指導助成費	1,700,000
		涉外費	100,000
		事務費	450,000
		雑費	10,000
		予備費	4,855,962
		次年度繰越金	
合 計	17,775,962	合 計	17,775,962

特別会計			(円)
収	入	支	出
前年度繰越金	10,951,506		0
雑収入	2,500		
平成 27 年度基金	200,000		
合 計	11,154,006	合 計	0
		差引残額	11,154,006

※特別会計は、教育実習のための施設設備および学生のために特に必要なものを 備えることを目的とした積立金です。

新任教職員紹介

今年度から本学の仲間になった教職員の方々を紹介します。



山本 亮 放射線技術科 准教授

診療放射線技師の関わる業務は日々進歩し、需 要も増加しています。放射線科医としてのこれまで の臨床経験を生かし、より臨床の場で役に立つよう な内容の講義をしたいと思います。何事も積極的に 取り組む気持ちが大切です。



■ 島村 美砂子 看護科 講師

「老年看護学」を担当させていただきます。今まで の教育経験を生かして看護の喜びや楽しさ、また難 しさを伝えていけたらと思っています。講義や実習を 通して、皆さんと共に成長できるように頑張りたいと 思います。



平井 紀之 臨床検査科 講師

病院勤務の経験を生かし、臨床検査技師の魅力 や難しさなどについて、担当する「生理機能検査学」 の講義・実習を通して、皆さんに伝えたいと思います。



上野 浩司 臨床検査科 講師

神経科学の研究を専門としてきました。学生の皆 さんには大学時代に専門知識を身につけ、さらに教 養を深め人間性を高めてもらいたいと考えておりま す。自ら行動し、考える力を養ってください。



■ 谷本 大吾 放射線技術科 講師

診療放射線技師として働くにあたって必要な病気 の知識や画像構築など、医師の立場から皆さんに伝 えていきたいと思います。教科書では学べないこと もどんどん講義に取り入れていくつもりです。



池原 麗子 看護科 助教

「成人看護学」の担当および看護科1年生の副担 任をさせていただいています。臨床経験や教育の経 験はありますが、本学では私も1年生です。フレッシュ な気持ちで皆さんと共に学び、成長し続けたいと思っ ています。



森脇 真理 看護科 助教

私は学生の皆さんが生まれる前から看護の現場で 働いていました。この春からは本学の教員として、 皆さんと共に喜び、楽しみ、泣き、笑いながら、患 者さんに必要なことは何かを考えられる看護を目指 して頑張りたいと思っています。



西崎 大修 教務課 課長代理

中学校と高等学校での教員生活を終えて、本学に 勤務することになりました。広報やオープンキャンパ スなど、これまでに経験のない仕事も多く、戸惑い もありますが、学生の皆さんや本学のお役に立てる よう努力してまいります。

平成27年度 公開講座

入場無料(一般の方の参加をお待ちしています)

第1回【医療介護福祉科】

_{講座名:}「元気なお口で介護予防」

前川享子

(岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター 摂食・嚥下リハビリテーション部門)

日時

6月21日(日) 10:00~11:30

本学体育館 101教室



第2回【看護科】

_{講座名:} 「小さな傷でもよく見える ~体にやさしく安全な鏡視下手術~」

講師 繁光 薫

(本学看護科教授)

日時 8月16日(日)

10:00~11:30

会 場

本学 体育館 101教室



T701-0194 岡山県倉敷市松島316 川崎医療短期大学 公開講座係 TEL:086-464-1032 FAX:086-463-4339

合わせ先

Eメール:koukai@jc.kawasaki-m.ac.jp

平成27年度 補助金・助成金一覧

四	研究代表者 研究代表者 森本 寛訓	平成26年~28年(千円)	2,340
训九八衣有		平成27年度配分額 (千円)	910
名 称	『対人援助職者の	艾事業 基盤研究 (C)精神的健康保持のため :有行動に焦点を当てて-	の手法の
研究代表者	医療保育科准教授	平成26年~28年 (千円)	2,470
中川智之	平成27年度配分額(千円)	1.040	
		十成27千皮能力银(十二)	1,040
名 称	科学研究費助品	大事業 若手研究(B ける「かみつき」行動の実)
	科学研究費助成 『保育所保育にお	戊事業 若手研究(B)
名 称 研究代表者	科学研究費助成 『保育所保育にお の解明』	炗事業 若手研究(B ける「かみつき」行動の実)

平成 26 年度 国家試験結果と進路状況

3月末に平成26年度国家試験合格発表があり、下図 に示したように全国合格率を上回る好成績を収めました。 就職については、就職希望者300人に対して、求人数 2,548 人、就職率は 99%でした。進学については、岡山 大学等の国公立大学へ4人、川崎医療福祉大学等の私 立大学へ6人、短期大学へ1人でした。

各学科の最新情報は、本学ホームページをご覧ください。





「しまつする」という言葉を関西弁では、無駄遣いしない こと、倹約することの意味に使います。国語辞典にも載って いますので、関西以外でもこの意味で使うことがあるようで す。子どもの頃、父親からよく言われた言葉です。父から私 は「しまつする」という言葉を、物を大切にするために知恵 を絞るという意味で教えられていたように思います。

「しまつ」と「ケチ」とは違います。「ケチ」は、人からあま り良い評価を受けません。「○○さんはどケチやでぇ…」と なりますが、「しまつ」となると「○○さんはしまつやでぇ、 見習わなあかんなぁ…」となります。

「エコ」とはecologyの略で、環境問題対策の意味で使 われます。この「エコ」とは、関西弁の「しまつ」と同じ意味 だと思います。環境を守るために、限りある資源を、一人ひ とりが知恵を絞り、物を大切に使うことではないでしょう か。そこには、どことなく楽しさを見いだすこともできるので はないかと思います。

「川崎エコプロジェクト」、学生も教職員もみんなで楽し みながら「しまつ」しましょう。

(医療介護福祉科 土田 耕司)

Information

主要行事(7月~9月)

8日 医療介護福祉科1年介護実習 [終了

15日 医療介護福祉科2年介護実習Ⅲ終了

7月 18日 7月オープンキャンパス (~19)

23日 臨床検査科3年臨床実習Ⅱ終了

30日 放射線技術科3年臨床実習Ⅱ終了

16日 8月オープンキャンパス

// 第2回公開講座

17日 医療保育科3年病児保育コース

小児病棟実習(~9/12)

8月 // 第16期師生訪問団上海訪問 (~20)

18日 看護科2年保育園実習 (~21)

24日 看護科3年臨地実習 (~9/18)

30日 AO入試前期

31日 医療保育科2年保育実習 [(~9/10)

4日 AO入試前期合格発表

18日 看護科3年臨地実習終了

19日 9月オープンキャンパス

24日 前期末卒業証書・学位記授与式

9月 25日 臨床検査科ワッペン授与式

26日 放射線技術科授章式

28日 医療介護福祉科2年介護実習Ⅳ (~10/31)

29日 臨床検査科3年臨地実習 [(~12/3)

29日 放射線技術科2年臨床実習 I (~2/18)



川崎医療短期大学広報誌 「若きいのち」(89号)

2015年6月発行

編集発行: 広報誌編集委員会

河邉 聡子(医療介護福祉科・委員長) 見尾 久美恵(一般教養・副委員長)

重田 崇之(一般教養)
沖田 聖枝(看護科)
迎 由利子(臨床検査科)
天野 貴司(放射線技術科)
重松 孝治(医療保育科)
桑田 俊明(庶務課)
松井 美奈(庶務課・書記)

写真協力:二葉写真館 印刷: 友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194 倉敷市松島316 川崎医療短期大学 広報誌編集委員会 電話:086-464-1032 (庶務課) Eメール:kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/

OPEN CAMPUS 2015





オープンキャンパス 2015 開催スケジュール

6/21 13:00~

平成28年度入試概要決定! 夢に向かって踏み出そう!

7/18 13:00 7/19 13:00 7/19 16:00

AO入試にチャレンジ! キミが目指すべき未来が見えてくる!

8/16 13:00~

応援します! なりたい自分を決める夏!(入試解説)

9/19: 13:00~

川崎医療短期大学 「受験生応援プロジェクト!」

10/10 15:00 10/11 15:00 10/11 15:00

楽しもう学園祭! 見つけよう、あなたの未来!

学園祭同時開催!

- ◆模擬講義・体験実習、面接・小論文・入試問題の解説、 女子寮見学、附属病院見学など、豊富なコンテンツ!
- ◆参加された方に入試資料・記念グッズなどプレゼント!
- ◆当日JR中庄駅から往復無料バス運行 (6月~9月、中庄駅⇔本学学生玄関)
- ◆駐車場あり(当日無料)



内容は変更になる可能性がありますので、事前にホームページ等でご確認ください。 http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc

なお、学校見学は随時受け付けています。その他詳細は、教務課までお問い合わせください。 【TEL】086-464-1033 (受付・平日 $8:30\sim17:00$ 、土曜 $8:30\sim12:00$)

編集後記

今年も桜が美しく咲き誇る中、入学式が挙行され、351人の新入生を迎えました。 今号は、巻頭に小池 将文新学長のメッセージを掲載しました。また、新入生の 本学の志望理由やこれからの抱負を特集[新入生突撃インタビュー」とし、期待に 満ちた新入生の活気あふれる様子をお伝えしました。

さらに、「HAPPY NEWS 2014」の大学生大賞を始めとして、多くの受賞がありましたので、「コンテスト受賞のお知らせ」として見開きで紹介しました。学生の日々の取り組みとその成果をご覧ください。

広報誌編集委員会は今号より一部委員が交代し、新体制でのスタートとなりました。 河邉新委員長を中心に今後もより良い広報誌の発刊を目指して努力していきたい と思っております。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、記事を執筆してくださった皆様に 深くお礼申し上げます。

(松井 美奈)